

## 編集後記

今夏は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震など日本各地で多くの災害が起きました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様の安全と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今号は、「爆発と燃焼，その危険性評価」をテーマに解説記事 4 編を掲載させていただきました。熱分析を用いたエネルギー物質の反応機構についての解説では、複合測定と計算化学手法から得られる新たな知見についてご紹介いただきました。また、ニトロセルロースの自然分解など実際に起きた爆発事故の原因を熱分析によって明らかにした研究例では、危険性を評価するために熱分析が果たしている役割が非常に大きいものであることを実感しました。DSCによって化学物質の危険性評価をする際の留意点の解説では、化合物の危険性評価のみならず熱分析を研究に用いる際、現象を正しく理解するためには正しい測定が不可欠であることを再確認することができました。お忙しい中、解説記事のご執筆をご快諾いただいた著者の皆様に深く感謝いたします。ところで、今号を編集するにあたり、ピンポン玉がとても良く燃焼するという話を思い出しました。ピンポン玉にセルロイド素材が使用されている事が理由のようですが、調べてみると 2014 年から ABS 樹脂などが使用されるようになったようです。その理由は危険性やセルロイドが入手困難になったなど様々なようですが.....

東京工業大学すずかけ台キャンパスにて開催される第 54 回熱測定討論会も間近となりました。今年も皆様の研究による新たな発見と活発な議論を楽しみにしています。

終わりに、新たに編集委員に加わりはや一年が過ぎ、この役割の重要性を改めて実感しています。本誌がより良くなりますよう尽力いたしますので、どうぞよろしくお願い致します。(山田 秀人)

## 【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A. FAX. +1-978-646-8600

## 2018 年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 米持 悦生

(編集委員) 阿部 陽香, 織田 昌幸, 川路 均, 名越 篤史, 八尾 晴彦, 山田 秀人

(拡大編集委員) 池内 賢朗, 神山 匡, 戸田 昭彦, 西本 右子, 菱田 真史, 三宅 淳巳, 藤代 史

## 2019 年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 織田 昌幸

(編集委員) 阿部 陽香, 川路 均, 名越 篤史, 八尾 晴彦, 山田 秀人

(拡大編集委員) 池内 賢朗, 神山 匡, 戸田 昭彦, 西本 右子, 菱田 真史, 三宅 淳巳, 藤代 史, 米持 悦生

熱測定 Vol.45, No.4, 2018

昭和 52 年 5 月 27 日 第 4 種郵便物 (学術刊行物) 認可

平成 30 年 10 月 20 日 印刷

平成 30 年 10 月 25 日 発行

発行人 日本熱測定学会 齋藤 一弥

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601  
TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.netsu.org/>

郵便振替口座 00190-5-110303